

青森県議会議長より総評

青森県議会議長
三橋 一三



今日は「青者」と書いて若者世代の3校の皆さんから有意義な提案をいただき、大変ありがとうございます。

この議場の中というのは独特の雰囲気がありますので、私自身20年前、初めてこの場所に入ったとき、そしてまた初めて質問したときのことを思い出しております。

昼に出前でラーメンを頼み、一口目はなんとか食べられたんですけども、二口目は緊張感で胸がいっぱい食べられなかった、そういうことを今思い出しております。

今日発言をした皆さんの中にも大きな緊張に包まれて発言をされた方も多いと思いますが、今発言が終わってほっとしているところだと思います。皆さんがこれから試験や面接等で緊張する場面があると思いますけれども、人は程よい緊張感のときに自分自身の能力を最大限に発揮できるといいます。

多分、今日発言したときはちょっと緊張が強すぎた。そして終わって議場から出ると少し緊張が無くなりすぎている。今、八戸北高等学校の皆さんが発言を終わりほっとしてこの議場の中にいる。この緊張感が自分自身の力を最大限に発揮できる。傍聴席にいる皆さんはさっき議場にいたときの感覚を思い出していただければ、そのときが今持っている力を最大限に発揮できる緊張感ではないかと思います。

ぜひその能力の限界をどんどん高めていくためにも、これからも今日の発表を通じて学んだことを含め、青森県の未来の為に様々なかたちで勉学に取り組んでいただければと思います。

この後皆さんと一緒に記念撮影をさせていただきますので、青森県の未来に向けてとびきり輝く笑顔で、みんなで写真を撮っていただければと思います。本日は有意義な時間を誠にありがとうございます。